

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地域振興基金造成事業				事業コード	130315						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課			所属長	松井 美幸						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市地域振興基金条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連携の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立て、今後市民の連携感の醸成や地域振興に資する事業の財源として活用する。											
対象者	市民			対象者数	76,037		単位あたりコスト	4.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	令和3年度の予算の一部財源を地域振興基金に積み立て、地域活性化、産業支援、また観光誘客など、将来の地域振興施策の財源として活用する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	積立金	340,000		地域振興基金積立金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	
	② 補正予算	0	300,000	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	0	300,000	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	300,000	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	40,000			
	② 配当予算	0	340,000			
	③ 執行額	0	340,000			
	④ 執行率	0.0%	100.0%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.01 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	0	80	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	340,080	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	充当金事業数	千円	38 / 30	38 / 30	26 / 30	/ 30	30
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	基金造成	千円	100000 / 0	0 / 0	340000 / 0	/ 0	
	単位あたりコスト		/ 計画	/	/	/	
	単位あたりコスト				1.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	福知山市地域振興基金条例に基づき、市民の連帯の強化及び地域振興に要する資金を地域振興基金に積み立てている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	合併特例債を活用して積み立てた基金を活用している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	市民の連帯感の醸成や地域振興に資する事業の財源として有効に活用している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	合併後(平成18年度から平成27年度まで)の10年間は、合併特例債を活用して基金に積み立てを行ってきた。今回も一般財源により基金を造成することができた。		
改善策	積み立てた基金の運用計画が必要である。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	計画的に基金の積立を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	自治会長関係事業			事業コード	720139						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち		政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化		施策コード	111						
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課		所属長	松井 美幸						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	56・58	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	自治会長に対する事務委嘱要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	スマートシティ推進事業(自治会)										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地縁コミュニティである自治会と行政が相互連絡を行うことで地域での暮らしやすさを向上させるため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を実現する。										
対象者	自治会長			対象者数	326		単位あたりコスト	342.9			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	(株)オフィス102、京都ユニオンサービス(株)										
事業概要 (箇条書き)	・行政事務の円滑化を図るため、自治会長に対する事務委嘱要綱に基づき、自治会長に行政事務の一部を委嘱し、円滑な行政運営を行う。 1 委嘱事務・市広報紙等の配布、周知事項の連絡、各種募金の取扱い等、2 自治会長運営委員会の開催(年2回)、3 自治会長会の開催(年2回) ・地域(市民)と行政とのパイプを活用した「風通しのよい市役所」の実現を目指すことを目的として、自治会ごとに「地区担当職員」を配置する。 ・地縁団体(自治会)の認可申請等に関する事務を取り扱う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R3)		主な業務内容						
	報酬		101,043		自治会長報酬						
	報償費		1,386		自治会長運営委員報償等						
	役員費		656		自治会長文書郵送料等						
	使用料及び賃借料		326		パスカード						
需用費、委託料		296		自治会長証印刷、宅配袋購入、自治会長会資料用市政進捗説明動画制作業務、福祉バス運転代行業務委託 等							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	105,322	106,500	110,915	111,842				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	105,322	106,500	110,915	111,842					
予算財源内訳	① 一般財源	105,313	106,488	110,903	111,830				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	9	12	12	12				
決算情報	① 流充用額	△ 39	△ 2,666						
	② 配当予算	105,283	103,834						
	③ 執行額	103,664	103,707						
	④ 執行率	98.5%	99.9%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.95 / 0.70	0.79 / 0.70	0.79 / 0.70	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	9,350	8,070	8,070	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	113,014	111,777	8,070	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地縁団体証明手数料	種類	総務手数料	実績金額	13	決算付属資料	12	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	自治会長会開催数	回	2 / 2	0 / 2	0 / 2	2	2
文書送達件数(各戸配布)	回	40 / 55	45 / 55	47 / 55	55	55	40
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地区担当職員の活動件数	回	1019 / 1308	1318 / 1308	1028 / 1308	1308	1308
	単位あたりコスト		102.6	78.7	100.9		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市民にとって最も身近な組織である自治会と市は、連携を保ち円滑な住民サービスの提供及び各種施策の推進を図っていく必要があることから、毎年自治会長会及び自治会長運営委員会を開催し、市の施策に関する協議や重点事項の説明を行い、市の取組の共有を行うことで、協働してまちづくりを行っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合型の会議は中止とし、動画配信による説明を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市民への行政情報提供のための各種お知らせ等の回覧や各戸配布については、自治会長に事務を委嘱し、自治会のネットワークを活用することでコストを軽減し、非常に効率的に周知を行うことができています。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	地区担当制度により、地域の代表者である自治会長と定期的に連絡をとり「地域の声」を聞くことで、地域課題の拾い上げや市担当課、他関係機関への橋渡しを行うなど、地域の課題解決や市施策の推進及び行政事務を円滑に進めている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長事務委嘱要綱に基づき、広報の配布などの事務を委嘱し市政の実施に協働で取り組んでいる。しかし、一方で、自治会長への事務の委嘱のあり方などについて検討を進める必要がある。</li> <li>令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、年2回の自治会長会を中止とし、地区担当職員による資料配布を行った。自治会長会の開催については、実施方法や開催回数の見直しが必要である。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務委嘱のあり方については、庁内の関係課による検討委員会の設置や自治会長から意見をお聞きするなど、見直しに向けた検討を開始していく。</li> <li>自治会長会の開催見直しについては、令和4年度に実施した春季自治会長会運営委員会及び春季自治会長会において開催回数を見直しを提案し、令和4年度より年1回の開催とすることで承認いただいた。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	自治会長への事務委嘱のあり方等について、引き続き検討を進め、方向性を固めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	スマートシティ推進事業(自治会)				事業コード	720143					
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課			所属長	松井 美幸					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	58	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	自治会長関係事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市では、Society5.0社会へ対応しスマートシティを実現することにより、住民福祉や利便性の向上を目指すとともに、withコロナ時代の新しい生活様式への転換を図るため、様々な行政サービスの効率化を進めていく。										
対象者	自治会長(モデル地区)			対象者数	13		単位あたりコスト	61.9			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・モデル地区の自治会長にタブレット端末を配付し、本市からの自治会長宛文書や情報等を電子データで送付する。 ・申請書類の電子化を進め、回答フォームでの回答を促す。 ・災害時における消防団や市との情報共有の手段として活用する。 ・タブレット端末の活用を促すために利用講習会を開催する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費	88		ソフトウェアライセンス購入等							
	役務費	157		タブレット端末用インターネット回線サービス利用料							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	361	342	138			
	② 補正予算	1,734	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	1,734	361	342	138				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	1,734	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	361	342	138			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	1,734	361					
	③ 執行額	1,556	245					
	④ 執行率	89.7%	67.9%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.05 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	400	560	560	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,956	805	560	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマートシティ推進事業(自治会)基金繰入		実績金額	244	決算付属資料	38	頁
	種類							

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		電子媒体での手続き	件	/	4 / 6	4 / 13	/ 13
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	通知文書の電子化	件	/	1 / 15	23 / 15	/ 19	19
	単位あたりコスト		/	1556.0	10.7	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>withコロナ時代となり、新しい生活様式を取り入れた、行政サービスの提供に向けて、自治会へ今後の手続きデジタル化を行うに当たり、試験的にタブレットの導入を行った。全域へのサービス提供を実施する前に、手続きのオンライン化に当たり課題となる点を行政が確認すること、また自治会長にデジタル化の利便性を知っていただくために必要な事業である。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ではスマートフォンを所有していない自治会長にも検証いただくために、対象自治会へは各自治会ごとに市が用意したタブレットを貸与し、必要なソフトウェアの利用方法について説明会を実施した。</li> <li>一律のデジタル環境を提供することで、個々人のネット環境に左右されることなく、自治会長への資料配布や連絡のデジタル化について、検証を実施できた。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長が市役所窓口に来庁せずとも手続きを行うことができるメリットはあったが、全員が活用されることも困難であり、活用件数は伸び悩んだ。</li> <li>しかしながら、行政からの伝達文書を電子化したことで、確認が容易になったり、自治会内でもデータで共有がすばやくできるようになったなどの声もいただいた。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、自治会長との事務連絡等のオンライン化に向け、試験的に実施している事業であり、効果を図るために実施期間を3年間と定めている。(令和2年度から令和4年度まで)</li> <li>市からの自治会長宛文書を電子データで送付することができた。</li> <li>また、電子申請システムを活用し、自治会長の市役所への手続きを電子化することができた。</li> <li>自治会長、消防団、市でタブレット端末を活用した防災訓練を実施したことにより、実際に大雨時の災害被害箇所の共有をすることができた。</li> <li>課題としては、操作に不慣れな方もおられる中で、タブレット端末の活用機会が行政から自治会向けの情報確認に偏っており、相談機能の活用は進んでいない状態である。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年交代される自治会長におかれては、操作に慣れる前に任期が終了してしまうこともあり、普段使用しないツールでの使用を依頼する上で、使用者が操作に習熟いただくことの困難さを感じているが、支所とも協力し、避難訓練時の写真付き報告やアンケート調査で活用いただくことで、便利さを感じていただけるよう工夫する。</li> <li>モデル事業としての検証期間中に、市から情報発信・情報共有を積極的に行い、タブレット端末の利用機会を増やしていくことで、双方向的な活用を促進する。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	実証事業の当初計画期間にて、自治会長の行政手続きにおける電子化について検証が行えた。公的タブレットでは使用になれる前に、自治会長が交代されてしまい、慣れた個人の電子機器での活用を希望される声も聞かれた。タブレット配布による本事業は終了し、今後は各自の機器の利用を促進すべく、電子申請手続きを丁寧に啓発していく。また、三和・夜久野・大江地域において、リモート相談や電子申請体験など、新たな実証事業を検討していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地域づくり組織支援事業				事業コード	720205						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課			所属長	松井 美幸						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	90	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市自治基本条例、地域づくり組織支援事業交付金交付要綱、地域づくり組織活動支援事業交付金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	一定のまとまりのある地域においてその地域の住民等により構成された包括的な自治組織である「地域づくり組織」の活動に対して、設立支援または継続支援を行うことで、地域住民が地域のために活動し、暮らしやすい地域を自らの手で営んでいくことで、地域の活性化を図る。											
対象者	市民(三和、夜久野、大江、中六人部、その他)			対象者数	10,800		単位あたりコスト	3.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	三和地域協議会、夜久野みらいまちづくり協議会、大江まちづくり住民協議会、中六人部地域づくり協議会、(特非)丹波ひとまち支援機構											
事業概要 (箇条書き)	・現在、活動されている地域づくり組織に対して「地域づくり組織支援事業交付金」を交付した。 ・新たに地域づくり組織の設立を検討している地域の相談、設立準備補助金を交付した。 ・近隣市(朝来市・丹波市)と連携し、地域づくりについて学び交流する「互近助サミット」を開催した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報償費	60		地域づくり講座 広報研修 講師謝礼 等								
	役務費	1		郵送料								
	委託料	143		互近助サミット運営委託								
	負担金補助及び交付金	26,683		交付金(4組織)								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	32,990	32,477	36,334	40,944			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	32,990	32,477	36,334	40,944				
予算財源内訳	① 一般財源	6,222	3,779	7,984	13,044			
	② 国支出金	0	450	450	0			
	③ 府支出金	125	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	26,643	28,248	27,900	27,900			
決算情報	① 流充用額	△ 6,539	△ 5,590					
	② 配当予算	26,451	26,887					
	③ 執行額	24,240	26,887					
	④ 執行率	91.6%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.00 / 0.00	0.69 / 0.00	0.69 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	8,000	5,520	5,520	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	32,240	32,407	5,520	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域づくり組織支援事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	23,563	38	頁
		地域活性化センター助成金		雑入		50	決算付属資料	46

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		地域づくり組織数	団体	3 / 7	4 / 7	4 / 7	/ 7
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	部会・研修等開催回数	回	173 / 132	243 / 140	249 / 140	/ 140	140
	単位あたりコスト		129.1	99.8	108.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>地域の困りごとを市民主体で捉え、対応するための事業を市民主体で実施していく取組みは、協働のまちづくりのために必要な事業であり、事業主体である協議会を支援することは地域活性のために必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域に活動主体を認可し、活動を支援していることで、それぞれの地域ニーズに対応した活動が展開できており、それぞれの地域の暮らしやすさの向上に繋がっている。</li> <li>地域内で、自分の地域の課題を捉え、解決手段を提案し、実行する体制が構築されることで、行政サービスでは即時対応できない課題にも対応できるほか、自治会等とも連携し、地域づくりが強化されている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い  <input type="checkbox"/> やや低い  <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の事業については報告書により確認し、地域おける課題解決に繋がっていることを確認している。</li> <li>3市連携の取組みにより、各組織の取組み内容や情報共有を行ったことで、市内における各協議会の今後の新たな活動展開へ繋げ、地域課題に向き合う住民自治を高めることに寄与した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・市民が主体の住民自治を継続するための活動について支援することができた。</li> <li>指標の地域づくり組織の設立数については満たしていないが、組織設立に向け、具体的な検討を始めている地域がある。</li> <li>4組織の部会の活動は、目的意識をもって活発に活動されている。</li> <li>今後の課題として、地域づくり組織が設立されていない地域とのバランスの検討と、協議会の交付金以外の資金調達手段の確保が挙げられる。</li> <li>地域協議会の立ち上げに向けては、相談があり、地域での組織の必要性などの説明会を実施予定であったが、コロナ禍において集会が実施できなかったこともあり、R3ないしはR4での設立は困難な状況であった。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに設立を検討する地域への伴走支援。</li> <li>地域公民館との関係や地域福祉の取りくみとの連携を踏まえ、地域づくり組織の役割や支援のあり方を整理し、事業に対する支援を重視する。</li> <li>交付金以外の資金調達は積極的に推進する。</li> <li>行政主導ではなく、地域が主体的に組織を設立することが重要であり、そのためにも、地域に寄り添う支援を行う。</li> <li>R4においては、新たな協議会立ち上げを検討している団体へ、伴走支援を行い、各地域の特色を生かしたまちづくりが前進できるよう支援していく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり組織が実施する事業について、市との情報共有に今後とも務め、効果的に実施できるよう伴走支援していく。</li> <li>立ち上げを検討している地域についても、設立準備金の活用とともに、職員が地域に入り、地域ニーズにあった事業が推進されるよう、支援を行っていく。</li> <li>令和5年度からは、現在設立準備中の組織が新たに地域づくり組織として立ち上がる予定である。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	三和荘等施設管理運営事業				事業コード	130207	
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備	
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111	
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所			所属長	井上浩人	
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業	三和地域交流拠点施設整備						

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	指定管理施設運営に関する経費を計上し、指定管理がスムーズに運営されるよう事業を実施する。 指定管理委託をしている三和荘等に対する指定管理業務委託料を支出し、三和地域の中心施設として地域振興、観光、住民の交流・福祉増進を進め、活気あるまちづくりにつなげるべく、健全な施設運営を図る。 また、令和4年度から施設の運営形態が指定管理から市の直接管理運営に変更になるにあたり、必要な手続き及び準備を進める。						
対象者	施設利用者	対象者数	60,000	単位あたりコスト	0.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	特定非営利活動法人丹波・みわ、大槻冷熱設備有限会社						
事業概要 (箇条書き)	・三和荘及び関連施設の改修の方向性の確認のため、三和荘運営審議会を開催した。 ・三和荘のレストラン運営と宿泊業務の委託者を公募型プロポーザルで選定するため、外部有識者に選考委員会に参加していただいた。 ・三和荘及び関連施設の管理運営を行うため、指定管理料の支出を行い、指定管理者は三和荘及び関連施設の管理運営を行った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止及び緊急事態宣言により、指定管理施設に休業要請を行い、その休業要請期間に対し休業補償を行った。						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	委託料	30,014	指定管理委託料、フロン排出抑制法に基づく定期点検業務				
	補償、補填及び賠償金	21,070	新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言に基づく、不可抗力により発生した費用等の補償				
	役員費	178	建物総合損害共済の共済基金分担金、三和荘マイクロバス法定点検及び車検整備				
	需用費	941	三和荘マイクロバス車検整備における修繕他				
使用料及び賃借料他	117	三和荘施設等敷地内の雨水排水管の土地借上料、三和荘マイクロバスの重量税他					

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	42,713	30,949	31,522	31,880				
	② 補正予算	9,509	21,071	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	52,222	52,020	31,522	31,880					
予算財源内訳	① 一般財源	14,590	22,188	27,909	26,770				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	37,632	29,832	3,613	5,110				
決算情報	① 流充用額	△ 125	300						
	② 配当予算	52,097	52,320						
	③ 執行額	50,964	52,320						
	④ 執行率	97.8%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32 / 0.09	0.40 / 0.09	0.40 / 0.09	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,785	3,425	3,425	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	53,749	55,745	3,425	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和荘等施設管理運営事業基金繰入	種類	基金繰入金	実績金額	29,832	決算付属資料	38	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	宿泊者数	人	5199 / 7000	3038 / 7000	3124 / 7000	/ 0	3000
利用者数	人	130683 / 150000	76275 / 150000	57343 / 150000	/ 60000	101000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	三和荘マイクロバス法定点検	回	3 / 3	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		11896.2	16988.0	17440.0		
	情報発信(丹波みわの発行等)	回	12 / 12	0 / 12	0 / 12	/ 0	12
単位あたりコスト		2974.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三和荘及び関連施設を継続していくためには、必要最低限の指定管理料の支出が必要であり、指定管理者による管理運営で、宿泊者数と利用者数の増加を図る。</li> <li>指定管理者への新型コロナウイルス感染症拡大防止及び緊急事態宣言により、指定管理施設の休業要請を行い、宿泊者数と利用者数は減少となった。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要最低限の指定管理料により、指定管理者は、特定の業務だけでない人員配置、コスト削減や効率化、クワガタやメダカなどの販売を行うなど集客に向けた工夫がされている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設規模やイベントから設定する成果目標の利用者数は理にかなっているが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の影響による利用者の減少を推測するのは困難である。</li> <li>宿泊者数や利用者数は、毎月報告があり、実績は適切に把握され測定されている。</li> <li>同等施設の研究等、日頃より努力が見える。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物共済や土地及び建物の借り上げに係る経費やマイクロバスについては施設の運営上必要なものであり、継続して実施していく。</li> <li>三和荘及び関連施設を地域交流の拠点施設として継続していくため、施設整備や修繕を行い、使用者の満足度の向上と集客の確保を図る。</li> <li>市の直接管理で運営を行っていくうえで、行政施設であるなか、いかに集客を行い、施設使用を行っていくか、さまざまな工夫が必要となってくる。</li> <li>施設規模やイベントから設定する成果目標の利用者数は理にかなっているが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の影響による利用者の減少を推測するのは困難である。</li> <li>三和荘及び関連施設の利用方法の確認のため、三和荘運営審議会が必要である。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物共済や土地及び建物の借り上げに係る経費やマイクロバスについては施設の運営上必要なものであり、継続して実施していく。</li> <li>スポーツ施設、会議室等は、市の直接管理で運営し、レストラン運営と宿泊施設の管理業務は民間事業者へ業務委託等により実施する。</li> <li>三和荘及び関連施設の利用方法、備品の必要性などの確認のため、三和荘運営審議会を開催する。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地域農業者ネットワークづくり事業					事業コード	130228					
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち				政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所				所属長	井上浩人					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算付属資料	82	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	農林産物の販売方法の多様化を進め、三和地域及び福知山市全体で協力体制を構築する手法を検討し、持続可能な農山村の維持に繋げる。											
対象者	三和地域の市民					対象者数	3,038		単位あたりコスト	2.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	地域おこし協力隊員											
事業概要 (箇条書き)	・三和地域の基盤産業である農林業の振興による活性化を図るため、「地域おこし協力隊員」を募集し、協力隊員を任用した。 ・「地域おこし協力隊員」は、都市地域から過疎地域等に移住し、一定期間(平成30年8月1日から令和3年7月31日までの3年間)、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援、農林業への支援、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	878	地域おこし協力隊の業務費									
	使用料及び賃借料	188	地域おこし協力隊の居住に係る建物借上料や自動車賃借料									
	役務費	5	地域おこし協力隊のリース自動車の保険等やモバイル通信料									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,179	1,086	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	3,179	1,086	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	3,179	1,086	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	236	△ 15			
	② 配当予算	3,415	1,071			
	③ 執行額	3,290	1,071			
	④ 執行率	79.3%	100.0%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.20 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,200	1,600	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,490	2,671	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	新規農産物等販売機会数	回/年	4 / 3	0 / 4	0 / 2	/ 0	5回/年(12月)
販売機会への登録農家数	戸	8 / 13	8 / 33	8 / 40	/	40戸(累積)	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	団体等との協議等	回/年	153 / 50	206 / 50	35 / 50	/ 0	50回/年(12月)
	単位あたりコスト		37.0	16.0	30.6		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊員の外部からの視点による自由な発想と、制約のある行政職とは違った柔軟で可動域の広いネットワークにより、新しい農業振興の方法を想起することができる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいアイデアや都市部との交流の深化等により、農業を基幹的産業とする三和地域、さらには市の農業が振興し、全体的な経済的効果が期待できる。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物の生産量の低下という現実的な課題の把握と克服に向けた考察を行い、販路拡大や流通の強化に向けて取り組んでいる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地域おこし協力隊員は地域に積極的に入り込み、会議への出席や現場で農業の実地体験を行うなど農家との良好な関係を構築するとともに、三和地域の農業団体、農業生産組織、主要な農家と連携して、地域の農業の最新の現状、課題を把握し、農業振興による地域の活性化をめざして活動した。 令和3年度については、「三和地域の農業(農業者)を元気にする」をミッションとし、新規農作物等の販売機会を増やすべく、大阪の商店街での販売、特産物や商品開発、販売機会への農家登録、農業者のネットワークづくりに取組み、紅の京願麵・翡翠麵の商標登録、FM丹波に生出演する等、三和町の農産物等の宣伝に寄与した。		
改善策	高齢化する農家の後継者不足や農業生産組織の弱体化の中での農業関係者との協力体制と農林産物の年間を通じた安定的な確保。販路開拓に向けた市場の開拓及び顧客の確保が必要である。 令和3年7月で地域おこし協力隊の任期が終了するため、3年間の調査報告、三和町に移住して感じたこと、三和町への提案などの報告を行い、次の取組に活かす。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	三和支所一般管理事業				事業コード	810437						
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111					
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所			所属長	井上浩人						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	62	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	三和支所施設管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	三和及び市東部周地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民の利便性を確保するため支所機能を維持していく。また、今後は、支所内に移転した放課後児童クラブや支所内に移転予定の図書館三和分館と、近接する三和学園、三和こども園と連携した教育拠点として体制整備を行うとともに、支所内に入居する社会福祉協議会、東部福祉センター、地域包括支援センターによる福祉拠点として福祉活動の充実を図り、教育と福祉の拠点施設として集約し、三和地域住民が利用しやすく、様々な活動に参加できる施設として維持していくために管理・運営を行う。											
対象者	支所利用者	対象者数	14,132	単位あたりコスト	4.6							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	三和地域協議会、(南)京都事務機販売											
事業概要 (箇条書き)	・三和支所の臨時職員(宿日直)賃金、役務費(郵便、電話)、委託料(コピー機リース)など一般的な事務経費の管理 ・三和地域協議会に自治会等連携・支援業務(自治会長会の開催、自治会長文書の配布、無線放送の吹込み)を委託する。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	5,211	臨時職員報酬									
	役務費	2,959	郵送料、電話代他									
	委託料	1,145	三和地域協議会に自治会等連携・支援業務他									
	需用費他	578	旅費、コピー機リース料、個別受信機購入、庁舎用品購入他									
	職員手当等	341	臨時職員手当									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	9,941	9,907	10,470	11,481				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	9,941	9,907	10,470	11,481					
予算財源内訳	① 一般財源	9,606	9,672	10,233	11,421				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	335	235	237	60				
決算情報	① 流充用額	487	341						
	② 配当予算	10,428	10,248						
	③ 執行額	10,138	10,234						
	④ 執行率	97.2%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	6.59 / 0.78	6.69 / 0.78	6.69 / 0.78	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	54,670	55,470	55,470	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	64,808	65,704	55,470	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	25	決算付属資料	46	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	支所利用者数	人	13533 / 15000	11321 / 15000	14132 / 15000	15000	15000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	在勤職員数	人	18 / 18	18 / 19	20 / 18	20	20
	単位あたりコスト		611.2	563.2	511.7		
	支所管理経費	千円	11001 / 9681	10138 / 9941	10234 / 9907	10470	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三和支所は市東部地域の行政サービスの拠点として維持していく必要があり、現時点では民間事業者での対応は困難である。</li> <li>さらに、少子高齢化が進行する三和地域において、今後も地域の活力を維持していくためにも、支所庁舎に福祉関係部署や、教育関係施設等の集約を行うことで、教育と福祉の拠点施設として住民の利便性の向上、施設利用の拡大、行事などへの参加を促すことにつなげていく計画であり、その重要な施設として適正な管理、運営を行う必要がある。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支所入居団体から、施設使用料や応分の光熱水費も負担をいただき運営を行っている。</li> <li>現時点においては行政主体で管理、運営を行う必要があり、限られた人員のなかで業務を実施するとともに、引き続き、維持管理コスト削減のため、照明のこまめな消灯やファイルなど事務用消耗品の再利用、コピー、印刷の抑制等に努めている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の支所改修、図書館三和分館の移転に向けた実施設計や入居団体等との調整を行った。</li> <li>令和5年度以降、教育と福祉の拠点として、住民の利便性を高め、住民が集い、交流しやすい施設として利用者の拡大を図っていくもので、そのために施設の適正な管理、運営を行うことは有効である。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>支所機能を維持するうえで必要最低限の管理経費であり、今後も必要である。</li> <li>今後、三和地域においては、三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約、三和学園との連携など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を進めていくための必要な施設整備、維持管理を行っていく。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、さらに少子高齢化が進む中で支所機能の必要性が問われるが、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、単なる行政窓口でなく、地域住民が集える拠点施設として住民が利用しやすい環境を整備していく。</li> <li>人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、住民の交流拠点として整備する三和荘と連携し、教育と福祉の拠点、三和地域でのコミュニティーの維持・醸成に取り組んでいく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	三和支所施設管理事業				事業コード	810441					
政策体系	基本政策	1 市民一人一人が、まちづくりの担い手となり、ほどよい加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備					
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化				施策コード	111				
事業担当	所属	02080000 地域振興部三和支所			所属長	井上浩人					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	68	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	三和支所一般管理事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	三和及び市東部周地域の行政サービス提供の拠点として、地域住民の利便性を確保するため支所機能を維持していく。 また、今後は、支所内に移転した放課後児童クラブや支所内に移転予定の図書館三和分館と、近接する三和学園、三和こども園と連携した教育拠点として体制整備を行うとともに、支所内に入居する社会福祉協議会、東部福祉センター、地域包括支援センターによる福祉拠点として福祉活動の充実を図り、教育と福祉の拠点施設として集約し、三和地域住民が利用しやすく、様々な活動に参加できる施設として維持していくために施設改修を行うとともに適正に管理・運営を行う。										
対象者	支所利用者数	対象者数	14,132	単位あたりコスト	2.6						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	三菱電機ビルテクノサービス(株)、川重冷熱工業(株)、(株)東亜設計、(社)福知山市シルバー人材センター他										
事業概要 (箇条書き)	・三和支所庁舎等の施設及び公用車両の管理経費の支出 ・教育と福祉の拠点施設として整備するための三和支所庁舎の改修に向けた実施設計業務の実施及び各種関係団体との協議・調整 ・地域情報伝達システム(エリアトーク)の維持管理等										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	工事請負費	18,040	三和支所庁舎エレベーター改修工事								
	需用費	7,825	庁舎光熱水費、消耗品費、公用車燃料代								
	委託料	3,113	機械保守維持管理業務、清掃業務、市有地除草業務								
	役務費他	888	公用車保険料・法定点検、防火シャッター・地下灯油タンク点検費用、廃棄物処理手数料他								
	使用料及び賃借料	551	公用車(軽トラ)リース料、電話交換機賃借料								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,774	31,053	135,321	31,380				
	② 補正予算	0	6,000	0	0				
	③ 繰越予算	0	△ 6,000	6,000	0				
	前年度繰越	0	0	6,000	0				
	次年度繰越	0	△ 6,000	0	0				
小計(①～③)	10,774	31,053	141,321	31,380					
予算財源内訳	① 一般財源	10,201	10,197	44,264	30,116				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	20,000	96,200	0				
	⑤ その他特財	573	856	857	1,264				
決算情報	① 流充用額	△ 480	△ 494						
	② 配当予算	10,294	30,559						
	③ 執行額	10,294	30,417						
	④ 執行率	100.0%	99.5%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.81 / 0.00	0.81 / 0.00	0.81 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	6,480	6,480	6,480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,774	36,897	6,480	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和支所施設管理事業(緊急防災・減災)	種類	総務債	実績金額	18,000	決算付属資料	50	頁
		施設等光熱水費		雑入		607		44	
		三和支所使用料		総務使用料		202		8・10	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	支所利用者数	人	13533 / 15000	11321 / 15000	14132 / 15000	/ 15000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	在勤職員数	人	18 / 18	18 / 18	20 / 18	/ 18	
	単位あたりコスト		534.0	571.9	1520.9		
	支所管理経費	千円	9611 / 10605	10294 / 10774	30417 / 31053	/ 135321	
単位あたりコスト		-	-	-			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三和支所は市東部地域の行政サービスの拠点として維持していく必要があり、現時点では民間事業者での対応は困難である。</li> <li>さらに、少子高齢化が進行する三和地域において、今後も地域の活力を維持していくためにも、支所庁舎に福祉関係部署や、教育関係施設等の集約を行うことで、教育と福祉の拠点施設として住民の利便性の向上、施設利用の拡大、行事などへの参加を促すことにつなげていく計画であり、その重要な施設として適正に管理を行う必要がある。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点においては施設の老朽化により修繕等維持管理費が増加傾向にある。</li> <li>令和4年度には、教育と福祉の拠点施設として整備を行うために支所改修工事を実施し、その際、ボイラー式集中配管の空調設備を各エリア単位で使用可能な電気式に改修、また、照明についてもLED化を図ることで、ランニングコストの削減、維持管理の効率化に取り組んでいく。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の支所改修、図書館三和分館の移転に向けた実施設計や入居団体等との調整を行った。</li> <li>令和5年度以降、教育と福祉の拠点として、住民の利便性を高め、住民が集い、交流しやすい施設として利用者の拡大を図っていくもので、そのために施設の適正な施設管理を行うことは有効である。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民に対するサービスの拠点施設として維持するため必要な施設管理を継続する。</li> <li>今後、三和地域においては、三和荘を中心とした地域交流拠点整備とあわせ、福祉関係機関や図書館の支所への移転、集約、三和学園との連携など、支所を中心とした教育と福祉の拠点整備を進めていくための必要な施設整備、維持管理を行っていく。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、さらに少子高齢化が進む中で支所機能の必要性が問われるが、市東部地域の行政サービスの拠点施設としてしっかりと維持するとともに、単なる行政窓口でなく、地域住民が集える拠点施設として住民が利用しやすい環境を整備していく。</li> <li>人口減少により地域活力が減衰していくなかで、支所として様々な課題に対応していくため、三和地域協議会や三和地域公民館、各種団体等と協働し、住民の日常生活を支えるとともに、住民の交流拠点として整備する三和荘と連携し、教育と福祉の拠点、三和地域でのコミュニティーの維持、醸成に取り組んでいく。</li> <li>今後は農業振興センターに入居している諸団体を支所または三和荘へ移転・集約し、農業振興センターの活用方法についても検討を進める。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	下夜久野地区財産区管理経費				事業コード	210146						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	01 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	18 下夜久野	決算付属資料	322	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市下夜久野地区財産区管理会条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域組織の活性化のため、福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全管理並びに基金の管理を図る。											
対象者	下夜久野地域住民			対象者数	1,242		単位あたりコスト	0.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山市下夜久野地区財産区管理会委員											
事業概要 (箇条書き)	福知山市下夜久野地区財産区有林の保全管理を実施 ・令和3年度、福知山市下夜久野地区財産区管理会を1回(12月)実施											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬	40	管理会委員報酬									
	需用費	1	事務用品(消耗品費)									
	役務費	2	通信運搬費(郵送料)									
	負担金補助及び交付金	4	金尾地区林道整備管理負担金									
積立金	4	基金利子積立金										

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	177	176	176	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①～③)	177	176	176	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	177	176	176	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	177	176					
	③ 執行額	93	51					
	④ 執行率	52.5%	29.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.25 / 0.00	0.06 / 0.10	0.06 / 0.10	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	2,000	730	730	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,093	781	730	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	基金利子	種類	利子及び配当金	実績金額	4	320	頁
		下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金		下夜久野地区財産区財政調整基金繰入金		47	320	決算付属資料

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	管理会開催回数	回	3 / 4	2 / 4	1 / 4	/ 4	4/4
	単位あたりコスト		40.7	46.5	51.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	財産区管理会を開催し、決算審査や予算審査を行なうと共に財産区の今後のあり方について検討している。 特別地方公共団体である財産区の管理であり必要である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	令和4年度からの財産区管理会委員報酬を8千円から4千円に減額するなど、財産区の管理に必要な最小限の経費である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	コロナ禍による感染拡大防止の観点から管理会開催1回に留まった。成果指標の達成には至っていないが、必要な議事事項は審議されており、特別地方公共団体である財産区の管理であり有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市下夜久野地区財産区については、旧村合併の際に設置された特別地方公共団体であり、適正な管理が必要である。財産である木材価格が低迷する中、近年は基金を取り崩す一方となっており、基金が枯渇する前に対象地区住民と課題を共有し、今後の方向性を遠くない時期に結論づける必要がある。		
改善策	特別地方公共団体である財産区の今後の方向性について計画的に検討を進める。 令和4年度からの委員報酬の見直しを行ったが、今後も引き続き基金の取り崩しを抑えられるよう執行する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	夜久野高原・道の駅支援事業				事業コード	220306	
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備	
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111	
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香	
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域交流推進費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	-		頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等	夜久野高原・道の駅支援事業「やくの高原まつり」補助金交付要綱、夜久野農林商工祭補助金交付要綱						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業	農匠の郷やくの施設管理運営事業						

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地で、風光明媚で史跡にも恵まれている夜久野高原を、道の駅「農匠の郷やくの」を含めて地域内外へ発信することにより、観光地としての集客を図るとともに住民交流を促進する。						
対象者	観光客及び市民	対象者数	22,600	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	やくの高原まつり実行委員会・夜久野農林商工祭実行委員会						
事業概要 (箇条書き)	夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」において実施されるイベントへの補助金交付事業。						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	702	802	702	902
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	702	802	702	902	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	200
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	351	351	351	351
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	351	451	351	351
決算情報	① 流充用額	△ 702	△ 802		
	② 配当予算	0	0		
	③ 執行額	0	0		
	④ 執行率	0.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14 / 0.00	0.04 / 0.04	0.04 / 0.04	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,120	420	420	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,120	420	420	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	高原まつり来場者数	人	25000 / 16000	0 / 16000	0 / 16000	/ 16000	16000
	農林商工祭来場者数	人	6500 / 6600	0 / 6600	0 / 6600	/ 6600	6600
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	やくの高原まつり補助額	千円	548 / 548	0 / 548	0 / 548	/ 548	548
	単位あたりコスト		1.3	0.0			
	夜久野農林商工祭補助額	千円	154 / 154	0 / 154	0 / 154	/ 154	154
	単位あたりコスト		4.6	0.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>実行委員会により実施される地域に定着したイベントであるが、自己資金のみでの開催は困難である。</p> <p>道の駅及び夜久野高原への集客が年々減少傾向にある中、魅力を発信する事業として必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>受益者負担との負担関係について実施団体と協議をしてきており、補助金額に対する集客数は十分だと考える。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>道の駅への年間を通しての集客数が減少傾向にある中、支援をすることにより一時的ではあるが集客に繋がっている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和元年度までのそれぞれのイベント実施による集客数は、ほぼ目標に達成しており、一時的なものであるがイベント開催を通じて夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており、一定の成果を上げていたと考えている。</p> <p>ただ、令和2、3、4年度はコロナウイルスの影響で実施できなかった。</p>		
改善策	<p>今後アフターコロナの中でどのような形であればイベントが開催できるのか等も関係団体と協議しながら、観光地としての集客や住民交流が促進できるイベントの復活に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>○補助金の額は令和4年度と同額とし、協賛金等資金獲得に努めてもらい事業の安定を図る。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	夜久野支所一般管理事業				事業コード	810443						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	62	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	夜久野支所施設管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	住民に対するサービスや地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野支所を、適正に管理・運営する。											
対象者	夜久野支所を利用する人			対象者数	13,000		単位あたりコスト	1.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	株式会社HYSエンジニアリングサービス											
事業概要 (箇条書き)	夜久野支所の臨時職員(宿日直)報酬及び手当、役務費(通信費)など、一般管理経費を計上 ・宿日直数 365日、日直日数 122日、4名雇用し輪番制で1名勤務 ・防災行政無線移動系の維持管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬・職員手当等	5,406	宿日直臨時職員報酬・職員手当									
	需用費・旅費	240	消耗品費、旅費ほか									
	役務費	501	電話代、郵送料									
	委託料	111	防災行政無線設備保守点検業務									
使用料及び賃借料ほか	403	デジタル複合機賃借料、NHK受信料、防災行政無線電波利用料										

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,115	7,093	7,826	10,373				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	8,115	7,093	7,826	10,373					
予算財源内訳	① 一般財源	8,081	7,090	7,823	10,370				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	34	3	3	3				
決算情報	① 流充用額	0	△ 126						
	② 配当予算	8,115	6,967						
	③ 執行額	7,854	6,661						
	④ 執行率	96.8%	95.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	2.68 / 0.05	2.03 / 0.60	2.03 / 0.60	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	21,565	17,740	17,740	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,419	24,401	17,740	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	1	決算付属資料	46	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	支所利用者数	人	9246 / 12000	8692 / 13000	9254 / 13000	/ 13000	13000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	在勤者数	人	13 / 15	13 / 15	13 / 15	/ 15	15
	単位あたりコスト		655.6	604.2	512.4		
	支所管理経費	千円	8523 / 9257	7854 / 8115	6661 / 7093	/ 7826	
単位あたりコスト		-	-	1.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点としてニーズがあり、令和3年度は少ない人員の中で、管理経費も必要最低限の支出で継続して管理運営を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	支所内3つの係で、繁忙期等臨機応変に応援体制を取りながら、最低限の予算で運営している。報酬及び手当を除いた物件費からみると効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	防災行政無線等を通じて、支所で実施している業務を地域住民に周知して、利用者増加に努めた。旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点として有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。		
改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降旧町の住民が主に訪れる施設であったが、合併から15年が経過する中で、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○住民に対するサービスの拠点である夜久野支所の適正な運営を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	夜久野支所施設管理事業				事業コード	810447						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所			所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	68	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市支所設置条例、地方自治法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	夜久野支所一般管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域組織・地域活動の拠点施設である夜久野ふれあいプラザ内にある夜久野支所を、適正に管理・運営する。											
対象者	夜久野支所を利用する人			対象者数	13,000		単位あたりコスト	1.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティサービス株式会社、公益社団法人福知山市シルバー人材センター、有限会社やくの農業振興団											
事業概要 (箇条書き)	夜久野支所事務所及び公用車両の管理経費 ・施設清掃業務(週3回支所負担、週2回生涯学習課負担) ・公用車4台保有 ・夜久野ふれあいプラザ光熱水費(11月分～3月分を支所負担、他の月は生涯学習課負担)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	4,757	施設電気料・水道使用料、公用車ガソリン代、施設管理用品、他									
	役員費	161	建物共済分担金、公用車損害保険料、公用車法定点検手数料、ごみ廃棄手数料									
	委託料	999	夜久野支所日常清掃業務委託料、旧夜久野町中央公民館機械警備料、除草・剪定業務、除雪業務									
	使用料及び賃借料	386	公用車(軽バン、軽トラック)賃借料									
	備品購入費・公課費	29	テップソー研磨機、公用車自動車重量税他									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,562	6,332	7,759	17,151			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①～③)	5,562	6,332	7,759	17,151			
予算財源内訳	① 一般財源	5,344	6,144	7,575	11,002			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	5,491			
	⑤ その他特財	218	188	184	658			
決算情報	① 流充用額	△ 225	0					
	② 配当予算	5,337	6,332					
	③ 執行額	5,337	6,332					
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.70 / 0.00	0.75 / 0.05	0.75 / 0.05	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	5,600	6,125	6,125	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,937	12,457	6,125	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料	種類	総務使用料	実績金額	10	8	頁
		土地貸付収入		財産貸付収入		1,257	32	決算付属資料

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	支所利用者数	人	9246 / 12000	8692 / 13000	9254 / 13000	/ 13000	13000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	在勤者数	人	13 / 15	13 / 15	13 / 15	/ 15	15
	単位あたりコスト		390.7	410.5	487.1		
	支所管理経費	千円	5079 / 5657	5337 / 5562	6332 / 6332	/ 7759	
単位あたりコスト		-	-	1.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点としてニーズがあり、令和3年度は少ない人員の中で、管理経費も必要最低限の支出で継続して管理運営を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	支所内3つの係で、繁忙期等臨機応変に応援体制を取りながら、最低限の予算で運営している。効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	防災行政無線等を通じて、支所で実施している業務を地域住民に周知して、利用者増加に努めた。旧町及び周辺地域住民に対するサービスの拠点として有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	支所機能を維持する上で必要最小限の経費であり、現在の事業規模で継続的に実施する。		
改善策	夜久野支所は、旧町域の住民が利用する施設というイメージが強く、合併以降旧町の住民が主に訪れる施設であったが、合併から15年が経過する中で、近年徐々に近隣の旧福知山市地域の住民も訪れるようになり、西部地域のサービス拠点として期待されることから、継続して管理運営を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○住民に対するサービスの拠点である夜久野支所の適正な運営を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	大江支所一般管理事業				事業コード	810450						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	62・64	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の文書管理、自治会業務等の運営管理を図る。											
対象者	大江支所利用者			対象者数	12,091		単位あたりコスト	0.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	大江まちづくり住民協議会											
事業概要 (箇条書き)	・大江地域の自治会文書送達より行政運営を円滑にする。 ・大江支所の事務的経費(郵便、電話、印刷機)及び宿直、日直臨時職員に係る経費を支出し支所としての機能を維持する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報酬 職員手当等	5,314	臨時職員報酬(宿日直臨時職員報酬) 職員手当(宿日直臨時職員期末手当)									
	需用費	274	消耗品費(事務用品等) 印刷製本費(PPC用紙等)									
	役務費	433	通信運搬費(電話料金 郵送料)									
	委託料	422	委託料(住民協議会 自治会文書配達、自治会関係会議案内作成)									
	使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金	701	複写機使用料(複写機、コピー機) その他機器借上料(NHK受信料) 研修等参加負担金(安全運転管理者講習)									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,012	7,473	8,449	8,792				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	7,012	7,473	8,449	8,792					
予算財源内訳	① 一般財源	7,010	7,471	8,447	8,790				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2	2	2	2				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	7,012	7,473						
	③ 執行額	6,722	7,144						
	④ 執行率	95.9%	95.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.18 / 0.00	0.12 / 0.00	0.12 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,440	960	960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	8,162	8,104	960	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	2	決算付属資料	46	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	支所利用者数	人	12626 / 15000	12549 / 15000	12091 / 15000	/ 15000	15000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	在勤職員数	人	9 / 9	7 / 9	8 / 8	/ 9	9
	単位あたりコスト		722.9	960.3	893.0		
	支所管理経費	千円	6505 / 6873	6722 / 7012	7144 / 7473	/ 8449	-
	単位あたりコスト		-	-	1.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>地域住民に対して、行政サービスを提供するうえで、重要な拠点である支所機能を維持するため、必要性が高い。また、大江まちづくり住民協議会に自治会長文書配布の委託を行うことで、確実に配布することができたため、必要性は高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>市役所本庁から離れた大江支所で、少人数で行政サービスの拠点として業務を実施し、地域の身近な存在であり、迅速で細やかな対応で、安心安全な暮らしを提供しているため、効率性は高い。また、大江まちづくり住民協議会に自治会長文書配布の委託を行うことで、定期的な配布が効率的に配布することができた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>市役所本庁から離れた大江支所で、少人数で行政サービスの拠点として業務を実施し、地域の身近な存在であり、迅速で細やかな対応をするため、有効性は高い。また、大江まちづくり住民協議会に自治会長文書配布の委託を行うことで、確実に配布することができたため、有効性は高い。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>大江支所の業務機能を維持するため、必要最小限の経費で、現在の事業規模を継続的に実施している。地域住民に対して、迅速で充実した行政サービスを継続的に提供している。そのため、今後も必要な事業である。主には宿日直の人員費であり、宿日直も高齢化が進み、人材の確保が課題である。</p>		
改善策	<p>毎年度の募集を引続き行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	大江支所施設管理事業				事業コード	810454						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所			所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	68	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江地域及び近隣の住民に対するサービスの拠点施設である大江支所の維持管理を図る。											
対象者	大江支所利用者			対象者数	12,091		単位あたりコスト	0.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	(株)ダスキングラウン (株)丹新ビルサービス 姫路ナブコ(株) 由良電気設備管理事務所 (社)福知山市シルバー人材センター											
事業概要 (箇条書き)	・大江支所の光熱水費を支出し施設の機能を維持する。 ・大江支所としての施設を維持するため、庁舎の修繕を実施する。 ・大江支所としての施設を維持するため、法令で定められている設備の保守点検を業務委託により実施する。 ・大江支所としての施設を長寿命化させるため、庁舎内の清掃を業務委託により実施する。 ・令和4年度には支所所管地に電気自動車充電設備を整備する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R3)		主な業務内容							
	需用費		6,132		消耗品費(事務用品等) 燃料費(ガソリン等) 光熱水費(電気料、上下水道料) 修繕料(車検整備等)							
	役員費		189		手数料(車検整備、ごみ廃棄等) 保険料(建物共済分担金、車検整備等)							
	委託料		1,652		維持管理業務(機械設備保守点検業務 施設清掃業務 施設維持管理業務)							
	使用料及び賃借料 公課費		426		公用車賃借料 自動車借上料 公課費(重量税)							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	10,367	10,437	23,059	43,628				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	10,367	10,437	23,059	43,628					
予算財源内訳	① 一般財源	8,068	8,238	11,575	35,605				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	9,000	4,900				
	⑤ その他特財	2,299	2,199	2,484	3,123				
決算情報	① 流充用額	△ 782	△ 1,999						
	② 配当予算	9,585	8,438						
	③ 執行額	9,585	8,398						
	④ 執行率	100.0%	99.5%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.32 / 0.00	0.37 / 0.00	0.37 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,560	2,960	2,960	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,145	11,358	2,960	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱等敷地占用料(大江支所)	種類	総務使用料	実績金額	94	10	10	頁
		大江支所使用料(税機構・社会福祉協議会)		総務使用料	1,073	決算付属資料	10		
		京都地方税機構事務所経費負担金		雑入	1,165		48		

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	支所利用者数	人	12626 / 15000	12549 / 15000	12,091 / 15000	/ 15000	15000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	在勤職員数	人	9 / 9	7 / 9	8 / 8	/ 9	9
	単位あたりコスト		1067.2	1369.3	1049.8		
	支所管理経費	千円	9604 / 11227	9585 / 10367	8398 / 10437	/ 23059	-
単位あたりコスト		-	-	-			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>地域住民に対して、行政サービスを提供するうえで、重要な拠点である支所機能を維持するのに、水道代、電気代、機能維持のための法令点検等の費用として支出したため、必要性が高い。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>市役所本庁から離れた大江支所で、少人数で行政サービスの拠点として業務を実施し、地域の身近な存在であり、迅速で細やかな対応で、安心安全な暮らしを提供しているのに、支所を維持するための費用として支出したため、効率性は高い。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>市役所本庁から離れた大江支所で、少人数で行政サービスの拠点として業務を実施し、地域の身近な存在であり、迅速で細やかな対応をするのに、支所を維持するための費用として支出したため、有効性は高い。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>大江支所の施設を維持管理するために、現在の事業規模で継続的に実施している。職員が自覚を持ち、コスト削減に取り組んでいるが、経年による老朽化が進み、それに対する維持管理費や、光熱水費の高騰といった問題も全国的に発生してきているなか、当該施設も例外でなく、施設を維持管理する経費が今まで以上に必要になってきていることが課題である。また、京都地方税機構に有償で執務室として貸し出しをしているため、業務に支障がないよう、老朽化に対する対策が必要である。</p>		
改善策	<p>支所の維持管理を継続するためにも、部分修繕での対応が基本とするが、屋上防水及び空調機については、改修にかかる予算措置を講じる必要がある。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>施設を維持管理していくための費用として、経年による老朽化が進み、発生した雨漏り対策として防水シートの改修工事を実施する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	広報ふくちやま発行事業				事業コード	820106						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課			所属長	濱田 亜希子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算付属資料	64	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民の暮らしに役立つ広報誌として、市政情報などをお知らせし理解や協力を得るほか、行政からの一方的な情報提供にとどまらず、市民生活の様子や、地域づくりに積極的に取り組んでいる団体やグループ、個人などにもスポットを当てて掲載し、市民参加の機会を増やす。											
対象者	市民・不特定多数の人々				対象者数	-		単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・毎月1回32,900部を発行 ・決算・予算特集号の発行 ・広報誌のデジタル化											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	15,232	広報ふくちやま発行経費ほか									
	役務費	105	広報ふくちやま関係機関への郵送経費など									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	14,429	16,034	16,222	16,825				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	14,429	16,034	16,222	16,825					
予算財源内訳	① 一般財源	13,901	15,500	15,688	16,297				
	② 国支出金	0	6	6	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	528	528	528	528				
決算情報	① 流充用額	△ 88	△ 330						
	② 配当予算	14,341	15,704						
	③ 執行額	14,181	15,337						
	④ 執行率	98.9%	97.7%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.96 / 0.00	0.82 / 0.00	0.82 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	7,680	6,560	6,560	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,861	21,897	6,560	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	広報誌等広告収入	種類	雑入	実績金額	536	決算付属資料	44	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		毎号読んでいる割合(アンケート調査)	%	64 / 70	68 / 70	87 / 70	/ 70
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	発行部数(月単位)	冊	32900 / 32900	32900 / 32900	32900 / 32900	/ 32900	32900
	単位あたりコスト		0.4	0.4	0.5		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市民の暮らしにかかわりの深い事柄や生涯学習、健康、福祉等の催事についての行政情報を市民に伝えた。また、単なる情報のお知らせではなく、「このまちをもっと好きになる」をテーマに、市が市民に伝えたいこと、知ってほしいこと、考えてほしいことを題材に行政施策への理解と市民がまちのことを知ることで愛着心を養い、市民参加を促した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市の各部署からのお知らせを広報誌に集約し発行した。各部署の業務の省力化やコスト削減ができた。また、有料広告の掲載により、広報誌発行の財源確保に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	きめ細かく市政の情報を伝達した。(市民の87%が広報ふくちやまを読んでいる)	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	広報アンケートの結果では、「毎月読んでいる」「たまに読んでいる」と答えたい人を合わせると87%にのぼり、多くの市民の方が広報ふくちやまから市政情報を入手していることがわかる。 ※ 令和3年度京都広報賞 広報紙の部：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真)：会長賞受賞(府内2位)、写真の部(組み写真)：知事賞受賞(府内1位)、府民賞(府内1位)；府民インターネット調査 令和3年度全国広報コンクール 広報写真 一枚写真の部：総務大臣賞(特選 全国1位) 令和2年度京都広報賞 広報紙の部：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(一枚写真)：知事賞受賞(府内1位)、写真の部(組み写真)：知事賞受賞(府内1位) 令和2年度京都広報賞 府民賞受賞 と数々の実績をあげていることから、広報ふくちやまの読者が多いことを裏付けていると評価している。 課題としては、読者に高齢層が多いことがあげられる。		
改善策	まだ高齢の読者が多く、若年層が開けてみたくなる内容や仕掛けを心がける。 また、ホームページともSNSとも異なる、紙媒体だからできることを研究し、施策理解や活動への参加のきっかけづくりを目指す。 オープンデータ化し、ホームページでウェブブック化しているほか、民間事業者が運営する情報サイト「KYOTO eBOOKS」「マチイロ」「マイ広報誌」でも掲載するなど、若年層が利用するPCやスマートフォンなどから広報を見てもらえるよう展開しているが、引き続き、どこでも広報を読んでもらえる環境を整えるとともに、SNSやホームページ、シティプロモーション活動などと連携させ、多面的な情報発信を目指す。 引き続き広報関連の賞にも積極的に参加し、広告価値を高める。そのために、紙面レイアウトや色使いなどを改善し、「読む価値のある広報誌」としてのブランディングを進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	引き続き、どこでも広報を読んでもらえる環境を整えるとともに、SNSやホームページ、シティプロモーション活動などと連携させ、多面的な情報発信を目指す。広報関連の賞にも積極的に参加し、広告価値を高める。そのために、紙面レイアウトや色使いなどを改善し、「読む価値のある広報誌」としてのブランディングを進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	市政案内事業				事業コード	820109						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課			所属長	濱田 亜希子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算付属資料	64	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	広域的な情報発信の手段であるテレビ・ラジオ・新聞広告などを活用し、市民等に細やかで丁寧な情報提供を行うことで、福知山市政への理解と信頼を深める。											
対象者	市民・不特定多数の人々				対象者数	—		単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・毎週月曜日から金曜日の5日間、ラジオによる市政情報を発信。 ・自治会で市政の周知広報物や自治会運営を円滑にするために活用できる広報掲示板の修繕等を実施(10件)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	31	広報掲示板の修繕費用									
	役務費	1,704	市政情報放送業務ほか									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,461	1,447	1,447	1,447				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	1,461	1,447	1,447	1,447					
予算財源内訳	① 一般財源	1,461	1,447	1,447	1,447				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	93	288						
	② 配当予算	1,554	1,735						
	③ 執行額	1,554	1,735						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.03 / 0.00	0.08 / 0.00	0.08 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	240	640	640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,794	2,375	640	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	FM放送「市政情報」(月から金曜日週5日)	回	261 / 261	261 / 261	261 / 261	261 / 261	261
	単位あたりコスト		5.9	6.0	6.6		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	ラジオなどメディアを通じ、広く市民や市内外の人に市政情報を届けた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	業務を専門業者に任せることで、効果的・効率的で精度の高い広報を行った。広報掲示板の修繕は、内容を精査し優先順位をつけて実施した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	ラジオなどメディアを通じ、市民にきめ細かく市政の情報を伝達した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	ラジオや自治会に設置してある広報掲示板、新聞広告などにより、市民にきめ細かく市政の情報を伝達する有効な手段であり、今後も広く活用していく必要がある。 市民への情報提供手段の一つとして、ラジオを活用し、市内の不特定多数の方に市政情報をほぼ毎日(土日除く)発信する体制整備ができています。また、契約しているFM丹波においてラジオ放送だけでなく、独自のホームページやSNS(フェイスブックやツイッター)での情報提供もあわせて実施いただいており、市民の方だけでなく、不特定多数の方が市政情報を取得することが可能となっている。 課題は、広報掲示板の更新依頼が多く、希望通りに更新できていないこと。		
改善策	広報掲示板を設置している自治会に、活用状況についてアンケートを実施(H30年度)した結果、今後も活用すると回答された自治会が約80%であったことから、今後も引き続き、予算の範囲内で各自治会の要望に応じ更新し、市政情報を発信する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	広報掲示板について、H30年度アンケート実施結果より、今後も活用する自治会が多かったことから、引き続き、市として有効活用するよう全庁に周知する。また、アンケートでは、撤去してほしい自治会もあったことから、今後は、利用状況が少ない設置看板については、自治会と協議しながら、撤去を進めるとともに、原則、新設は行わないものとする。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	まちづくりミーティング事業				事業コード	820215						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	03020000 市長公室 秘書広報課			所属長	濱田 亜希子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算付属資料	66	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市長と市民団体等が意見交換できる場(機会)をつくる											
対象者	参加団体(20人×12回)			対象者数	240		単位あたりコスト	2.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	市長と市民等との「直接対話」の実施											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	25	PPC用紙									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	26	26	25	25
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)	26	26	25	25	
予算財源内訳	① 一般財源	26	26	25	25
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	26	26		
	③ 執行額	19	25		
	④ 執行率	73.1%	96.2%		
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.18 / 0.00	0.08 / 0.00	0.08 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	1,440	640	640	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,459	665	640	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開催回数	回	6 / 12	1 / 12	2 / 12	/ 8	8
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	参加者数	人	83 / 120	5 / 120	9 / 120	/ 80	80
	単位あたりコスト		0.4	3.8	2.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長が市民と意見交換することができた。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要最低限の費用で実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインでの開催も行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施回数が増えなかった。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長が市民の意見を直接聞くことができた。</li> <li>多くの市民の意見を聞くため、事業の周知やこれまで参加されなかったことがない団体との実施を増やしていく必要がある。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染対策を徹底しながら、それぞれの団体の状況に応じた方法で実施できるよう柔軟に対応する。</li> <li>広報誌や市のホームページを活用し、周知するほか、各種団体に働きかける。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	事業の周知や各種団体への働きかけを行い、幅広い団体との対話を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	例規集データベース化事業				事業コード	810107						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	05010000 市民総務部 総務課			所属長	吉田 和彦						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	02 文書広報費		会計	01 一般会計	決算付属資料	64	頁
計画期間	開始年度	平成19年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	行政事務において、例規システムにより、例規・法令を活用することができる。 市のホームページにも例規集を掲載することで、広く市民等に周知できる。											
対象者	市民			対象者数	76,377		単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	(株)ぎょうせい											
事業概要 (箇条書き)	・市例規集の整備並びに法令及び判例検索が可能なデータベース情報の提供 ・福知山市公報の発行(市公報発行事業:令和元年度予算から例規集データベース事業に統合) ・法令及び条例の根拠とする処分手続きの洗い出しを行うとともに、各手続きごとに審査基準・標準処理期間等を設定した個票を作成											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	2,730	行政手続整備支援業務、例規集データベース等更新業務(委託料分)等									
	需用費	1,457	例規集追録									
	使用料及び賃借料	620	例規集データベース等更新業務(使用料分)									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	4,991	5,239	3,145	3,143	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	4,991	5,239	3,145	3,143	
予算財源内訳	① 一般財源	4,991	5,239	3,145	3,143	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 114			
	② 配当予算	4,991	5,125			
	③ 執行額	4,056	4,808			
	④ 執行率	81.3%	93.8%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.37 / 0.00	1.22 / 0.00	1.22 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	10,960	9,760	9,760	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,016	14,568	9,760	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	条例改正本数	本	66 / 50	41 / 50	53 / 50	/ 0	/ 50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	例規集追録回数	回	4 / 4	4 / 4	4 / 4	/ 0	4
	単位あたりコスト		1264.2	1014.0	1202.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市民等に広く周知するため、市のホームページで、条例・規則・告示等の内容を掲載している。 職員が事務を行う際に、効率的に事務を執行できるよう例規システムを利用している。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	例規システムにより、他市の例規を参照。また、市の例規への影響等が確認できるよう例規会社から法令改廃情報を提供していただいている。 例規集データベース等更新業務委託契約は、一般競争入札で実施	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	改め文の作成機能や改正後の当該例規のチェックや他の例規への影響など、職員の目では限界がある部分をシステムによりチェックできる例規システムの導入している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	法令改廃情報の提供や改め文作成機能やチェック機能など、使用されていない部署もある。		
改善策	定期的に例規システムの職員研修等を実施し、例規システムを活用してもらう。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	例規システムの操作・機能研修を実施し、職員に活用してもらい、効率的な事務を推進する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	かわまちづくり整備事業				事業コード	550313						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	清水 俊行						
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算付属資料	184	頁
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	-			R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市域を流れる由良川と隣接した地域において、水辺空間を活かしたまちづくりを進める。											
対象者	全市民			対象者数	76,037		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	由良川の水辺空間を活かしたまちづくりを進めるため、国・府・地元団体等と連携した地域活性化策となる事業を展開していく。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	役員費	8		郵送料								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	6,000	3,412	0	0	
	② 補正予算	△ 5,000	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	1,000	3,412	0	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	1,725	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	1,687	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	1,000	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 888	△ 47			
	② 配当予算	112	3,365			
	③ 執行額	58	8			
	④ 執行率	51.8%	0.2%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.61 / 0.00	0.38 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	4,880	3,040	0	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,938	3,048	0	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	事業実施地域数	箇所	/	1	/ 3	1 / 3	/ -
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地元WG会議開催数	回	/	8 / 6	3 / 12	/ -	12
	単位あたりコスト			7.3	2.7		
	社会実験等試行回数	回	/	1 / 3	0 / 3	/ -	3
単位あたりコスト				58.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	民間事業者や市民だけでなく、国府市も連携しなければ実施できない事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	かわまちづくり制度認定後の河川整備は国土交通省からの協力が得られやすいため、少額の負担に抑えて効用を得ることができる。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	河川を防災の観点だけでなく資源の観点からも活用検討する事業であり、大きな河川が市内を貫流する本市においては有効性が高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	かわまちづくり計画については、大江地域での実施を主に、これまで、大江まちづくり住民協議会や地元住民等とワーキンググループ会議を通じて協議を重ねてきた。その中で、地域が持つ様々な資源を活用して地域を活性化するための検討が進めることができたが、もっとも重要な地域でのプレイヤーが見つからなかったことと、由良川に対する水害のイメージを払拭し、親水の意識に転換できなかったことから、当該地域でのかわまちづくり計画についてはいったん休止することとなった。これまでの協議を通じて大江地域には様々な資源があることを再確認でき、また地域に居住されている方々の考え方、思いも確認できたことから今後の施策の展開に反映できるのではないかと考える。		
改善策	行政主導ではなく地域が主となって取り組む活性化策として、本市が協力できることを軸に継続して支援し、大江地域のかわまちづくり計画の必要性が生まれた際には、本市をあげて協力する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和3年度をもって一旦事業休止とする。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	地区公民館育成事業				事業コード	630225						
政策体系	基本政策	1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち			政策目標	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備						
	施策名	1 地域組織や地域活動の活性化			施策コード	111						
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	浅田 久子						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費		会計	01 一般会計	決算付属資料	238	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域の特性、特色を活かしながら住民ニーズにあう生涯学習活動を通じた人づくり、明るい地域づくりを目指す地区公民館活動を支援し、地域の振興を目指す。											
対象者	地区公民館	対象者数	31	単位あたりコスト	418.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(バス運転代行)											
事業概要 (箇条書き)	「公民館活動のしおり」発行(各地域・地区公民館の1年間の活動をまとめた冊子) 地区公民館事業負担金:各地区公民館が行う生涯学習活動に対し、支援を行う。 地区公民館長・主事への報償											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報償費	4,524	館長・主事報償費									
	旅費・需用費	59	京都府公民館連絡協議会参加(普通旅費)、冊子印刷製本代、教育委員会表彰用品代									
	役務費・委託料	63	筆耕料、郵送料、バス運行代行委託									
	使用料及び賃借料	7	高速道路等通行料									
負担金補助及び交付金	6,466	公民館事業負担金、京都府公民館連絡協議会負担金										

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	12,153	12,022	11,190	11,268				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	12,153	12,022	11,190	11,268					
予算財源内訳	① 一般財源	12,153	12,022	11,190	11,268				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	12,153	12,022						
	③ 執行額	11,578	11,119						
	④ 執行率	95.3%	92.5%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35 / 0.00	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,800	1,840	1,840	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	14,378	12,959	1,840	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地区公民館活動数	回	280 / 280	116 / 280	104 / 280	/ 280	280
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	地区公民館への活動支援数	館	28 / 31	27 / 31	26 / 31	/ 31	31
	単位あたりコスト		433.1	428.8	427.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動で得た成果を活かして、現代的な課題や地域の課題解決に取り組める人材育成や活力ある地域コミュニティ作りを推進するためには必要。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区公民館活動においては、市との共催事業として実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としているが、福知山市域の最も住民活動に根差した地区単位での社会教育・生涯学習活動を行う上で、有効的な事業である。ただし、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による各行事及び講座の規模縮小・中止などになった行事がある。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習・社会教育の推進団体として、各地区公民館が行う「あいさつ運動」「交通安全対策」「各種スポーツ大会」「公民館まつり」「人権講座」「各種講座」「敬老事業」などの行事と、学習活動、家庭教育・青少年健全育成の推進、人材育成活動などを維持・継続していただいている。</li> <li>●各地区公民館館長・主事と各市立地域公民館で構成する「福知山市公民館連絡協議会」が役員会を除き、書面での資料の配布となり、各公民館が地域内での意見交換となった。</li> <li>●中学校単位の市立地域公民館の行事を実施するためには地区の課題やニーズを把握しやすい地区公民館との連携が必要となっている。</li> <li>●コロナ禍の中で参加者や世代間の交流に係る行事ができなかった地区公民館があり、課題として残った。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区公民館、市立地域公民館館長・主事で構成している市公民館連絡協議会において、コロナ禍の中で感染拡大防止の規制内で実施できた行事について意見交換が行われ、今年度は各種行事を工夫しながら増やすことを検討をされている。</li> <li>●新型コロナウイルス感染拡大防止で中止せざるを得なかったものの中で世代間交流(子どもから高齢者まで)参加に係る行事があり、行事の復活を計画されている。</li> </ul>		

こう

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市立地域公民館や市公民館連絡協議会と連携して、地区公民館に情報提供・助言を行い地区公民館活動を支援する。</li> <li>●地域ニーズに応じた生涯学習活動の充実と地域を支える人材育成を支援する。</li> <li>●地域づくり組織及び地区公民館との連携を更に深め、地域課題の解決に努める。</li> </ul>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--